



## ファイブ・ケイ・プロ始動

### “言葉の力”の文字化で企業をサポート

（株）経営塾の突然の倒産による雑誌「月刊BOS S」の廃刊から約1年8ヵ月。この度、ファイブ・ケイ・プロという屋号で事業をスタートしました。前職時代、そして“日本一明るい浪人”時代を通じて、ご心配から、叱咤激励まで、温かい言葉をかけてくださった皆様には本当に感謝しています。

失業からこれまでの間、いろいろなことを自問自答してきました。自戒からこれからのことまで…。取り巻く環境も、新型コロナウイルスの感染拡大、愛犬フクの介護

そして別れ…いろいろなことがありました。その中で、行きついたのが“言葉の力”でした。「言葉が足りない」といいますが、会社が倒産したのもその“言葉”不足からでした。一方で、愛犬の死から立ち直れたのも、ペット葬祭ディレクターさんからの“言葉”でした。

私が約30年間の経済誌生活で行ってきたことは、取材を通して経営者の言葉やビジネスを文字化すること。“言葉”を生業にしてきました。ならば、その経験を生かして、“言葉の力”を文字化することで企業のサポートをしたい。これが事業開始するにあたっての私の思いです。

ファイブ・ケイ・プロは、皆様とのかかわりの中で共に、5つの“感”（感謝・感動・感激・感銘・感性）を実現していきたいと思っています。これからもよろしくお願い申し上げます。

2021年2月吉日 加藤 佳悟



経済誌眼によって企業・経営者の可能性を見出す。



5つの“感”（感謝・感動・感激・感銘・感性）で企業・健康をサポート。

## My Life My Story

### ファイブ・ケイ・プロ代表 加藤佳悟 幼少時代編

私は、1965年（昭和40年）7月25日に東京都保谷市（現在の西東京市）で生まれました。赤ちゃんから幼稚園の頃までは、今とは想像つかないのですが、女の子とよく間違えられ



ていたそうです。幼稚園の頃はお母さんと離れることが寂しかったのか。メソメソ泣いていた記憶があります。そんな内向的な性格は小学校低学年まで続きました。とにかく運動嫌い（というより得意でなかった）で、それを気にしていた母から、よく特訓？を受けていたものです。

そんな私に転機が訪れたのが1970年の春でした。あるきっかけから野球に出会って、一気に野球一色の生活になりました。暇さえあれば家の階段にボールをぶつけて壁に穴を開



けてしまうくらいですから、そのハマりように想像がつくと思います。

とはいつても、元々の運動音痴。なかなか芽が出ず、それが実ったのは中学生になってからでした。小学6年の頃からメキメキ身長が伸び

はじめ、中学に入る頃には170センチを超えていました。それに、それまでの母からの特訓が加われば鬼に金棒です。入学当時から、レギュラーを狙えるのではないかと。そんな勘違いをしてしまうくらい体力の差は歴然でした。しかしながら、物事はそう簡単には行きません…。思わぬ落とし穴が待っていました。（続く）



## 経済界倶楽部例会報告

経済界倶楽部の東京例会が2月16日にありました。

講師は、GMOインターネット会長兼社長 グループ代表の熊谷正寿さんでした。

会社は仲間(社員)、お客様、株主様が幸せになるための道具であり、そのバロメーターは笑顔である。全員が笑顔になるために、会社は成長し続けなければならない。という経営者としての考え方から、そのための方法を、GMOでの実例などを通して聞くことができました。

熊谷さんは、講演の中で仕

事の意味を言語化して伝えることの重要性についても話されていました。まさに“言葉の力”の文字化。心に響きました。



F.K.P. は経済界倶楽部のビジネスパートナーです

FKP INFO

### 私は万病でも水素で治します

末期がんの専門医である白川太郎医師の新刊。長年の研究による末期がんの真実を通してわかった水素の有効性は、万病にも当てはまる。

あなたは何を信じて自分の命を守りますか？



コロナ禍だからこそ、読んでいただきたい一冊。3月16日発売予定。現在、Amazonにて予約受付中。1650円

### 編集後記

ファイブ・ケイ・プロをスタートするにあたって、サイトやSNSとは別に、何か私らしいメディアを。ということで、このF.K.P.通信を作成してみました。自分のことを書くのは正直照れくさいものですね。昔の学級新聞のように懐かしさと親しみを感じていただければ嬉しいです。

